

## 令和2年度 事業計画

### [本年度の目標]

本学会の公益目的事業の円滑な遂行を図るとともに社会との接点を広げ、学術研究の成果として得られる情報を学会内で学の立場から統合・整理・発展させ、かつ広く社会に発信していく活動を充実させるため、以下の各種事業を行う。また、国際交流委員会および水産学若手の会委員会等を通じて、SDGsに向けたさらなる国際化と若手研究者や学生への支援を推進する。

### 1. 役員会・組織運営等に関する事項

#### (1) 総会

a) 定時社員総会は、定款第13条に基づき、令和2年3月28日に開催する。また、必要がある場合には臨時社員総会を開催する。

#### (2) 理事会

a) 通常理事会は、定款第29条及び理事会運営規程第2条2項に基づき、7回開催する。また、理事会運営規程第2条3項による臨時理事会は随時開催する。

#### (3) 支部

##### a) 北海道支部

支部総会を年1回（開催日未定）、支部幹事会を年1回（開催日未定）開催する。

##### b) 東北支部

支部総会を年1回（令和3年1月予定、於東北大学）、支部幹事会を年3回（令和2年3,5,9月予定、メール会議）、支部幹事・支部連絡調整員合同会議を年1回（令和2年10月予定、会場未定）開催する。

##### c) 関東支部

支部幹事会を年1回（令和2年7月予定、於日本大学）開催する。

##### d) 中部支部

支部総会を年1回（開催日未定）、支部幹事会を年1回（開催日未定）開催する。

##### e) 近畿支部

支部幹事会を年2回（開催日未定）開催する。

##### f) 中国・四国支部

支部総会を年1回（開催日未定）、支部幹事会を年1回（開催日未定）開催する。

##### g) 九州支部

支部総会を年1回（開催日未定、於九州大学）、支部幹事会を年1回（開催日未定、於九州大学）開催する。

#### (4) 委員会

##### a) 編集委員会

学会誌の編集方針、報文の原稿の書き方、印刷物の体裁、オンライン投稿と審査に関する手続き等及び論文賞候補の推薦に係る必要事項を審議するため、年4回定期的に開催するほか、必要に応じて随時開催する。

##### b) 企画広報委員会

和文誌に掲載する記事の企画を行うほか、和文誌の編集発行、学会ホームページの運営及び新たな事業の企画と広報に関する業務について審議するため、隔月1回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

##### c) 学会賞選考委員会

学会賞受賞候補者及び日本農学賞その他の受賞候補者について審議するため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

##### d) シンポジウム企画委員会

シンポジウムとミニシンポジウムの題目及び企画責任者について審議するため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

##### e) 出版委員会

学術図書の出版企画、出版社との契約事項等を審議するため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

##### f) 水産環境保全委員会

水産環境の保全に関連する諸事項について審議し、シンポジウム、講演会の企画・開催等に関連する業務を行うため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

- g) 漁業懇話会委員会  
懇話会、講演会、研究会等の企画、開催に関する事項を審議するため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。
- h) 水産利用懇話会委員会  
懇話会、講演会、研究会等の企画、開催に関する事項を審議するため、年3回開催するほか、必要に応じて随時開催する。
- i) 水産増殖懇話会委員会  
懇話会、講演会、研究会等の企画、開催に関する事項を審議するため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。
- j) 国際交流委員会  
国際交流に関する諸事項を審議するため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。
- k) 選挙管理委員会  
理事及び監事の候補者の選挙、学会賞選考委員の選挙ならびに役員欠員のための補欠の候補者の選挙に関する審議、業務を行うため、必要に応じて随時開催する。
- l) 水産教育推進委員会  
水産教育に係る事項について審議し、理事会の承認を得て行う事業を実施するため、年4回開催するほか、必要に応じて随時開催する。
- m) 水産技術誌監修委員会  
水産分野の技術者、研究者、事業者等を対象として国立研究開発法人水産研究・教育機構が企画・編集し、定期的に刊行する和文誌「水産技術」について、編集の方針を提示し、編集の監督を行うため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。
- n) 水産政策委員会  
会長あるいは理事会の諮問に対応して各種の提言案を作成し、理事会に答申するため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。
- o) 男女共同参画推進委員会  
本学会における男女共同参画に関する諸事項を審議し、関連の業務を行うため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。
- p) 水産学若手の会委員会  
水産と水産学に係わる若手研究者や学生の研究・交流の促進に関する諸事項を審議し、関連の業務を行うため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

#### [公益目的事業1]

研究発表会及び学術講演会・シンポジウムの開催ならびに研究業績の表彰による水産学の学術の発展と科学技術の振興を推進するため、以下の事業を行う。

## 2. 研究発表会及び学術講演会等の開催による水産学研究の推進事業（定款第4条1項1号に定める事業）

### (1) 研究発表会

- a) 春季大会：令和2年3月26日～3月30日  
於東京海洋大学品川キャンパス  
大会委員長 金子豊二  
研究発表 口頭、ポスター  
高校生によるポスター発表  
シンポジウム、ミニシンポジウム、講演会  
令和元年度学会賞受賞者講演13題
- b) 秋季大会：令和2年9月11日～9月14日  
於北海道大学函館キャンパス  
大会委員長 木村暢夫  
研究発表 口頭、ポスター  
高校生によるポスター発表  
シンポジウム、ミニシンポジウム、講演会

### (2) 各支部が行う研究発表会及び講演会

- a) 東北支部  
①支部大会の開催（ミニシンポジウム、研究発表、令和2年10月予定、於岩手県）

- ②支部例会の開催（講演会，令和3年2月予定）
- b) 中部支部
  - ①支部大会の開催（研究発表，シンポジウム，開催日未定）
- c) 近畿支部
  - ①支部例会の開催（研究発表，シンポジウム，開催日未定）
- d) 中国・四国支部
  - ①支部例会の開催（研究発表，シンポジウム，開催日未定）
- e) 九州支部
  - ①支部大会・例会の開催（研究発表，シンポジウム，開催日未定，於九州大学農学部）
  - ②若手交流会の開催（開催日未定）
- (3) 各委員会が行う研究発表会及び講演会
  - a) 企画広報委員会
    - ①水産に関する勉強会の開催（開催日未定）
  - b) シンポジウム企画委員会
    - ①シンポジウムの開催
      - （令和2年3月26日，於東京海洋大学品川キャンパス）
      - 「発展する水産・海洋ゲノムサイエンス」
      - 企画責任者：浅川修一，木下滋晴，船原大輔
      - （令和2年3月30日，於東京海洋大学品川キャンパス）
      - 「多元素同位体を用いた魚類の移動履歴推定—最新の技術と応用」
      - 企画責任者：栗田 豊，富永 修，白井厚太郎，陀安一郎
      - （令和2年9月11日，14日，於北海道大学函館キャンパス）
      - 数件の開催を予定している。
    - ②ミニシンポジウムの開催
      - （令和2年3月26日，於東京海洋大学品川キャンパス）
      - 「水産・海洋系高等学校の水産科教員不足をめぐる現状、問題点と解決策」
      - 企画責任者：良永知義，荒川久幸，藤森康澄，荒川 修，古木正彦
      - 「データ不足下での資源評価・管理手法」
      - 企画責任者：市野川桃子，小池春子
      - （令和2年3月30日，於東京海洋大学品川キャンパス）
      - 「魚介類タンパク質・酵素の産業利用とさらなる理解に向けて」
      - 企画責任者：石崎松一郎，福島英登，落合芳博
      - （令和2年9月11日，14日，於北海道大学函館キャンパス）
      - 数件の開催を予定している。
  - c) 水産環境保全委員会
    - ①シンポジウム「貧酸素水塊が内湾生態系に及ぼす影響と持続的漁業から見た評価」の開催（令和2年3月26日，於東京海洋大学品川キャンパス）
    - ②研究会の開催（令和2年9月予定，於北海道大学函館キャンパス）
    - ③沿岸環境関連学会連絡協議会ジョイントシンポジウムの開催（開催日未定）
  - d) 漁業懇話会委員会
    - ①第72回講演会「ギアテレメトリー（漁具運動情報遠隔測定）の現状 ～水産学シリーズ「テレメトリー」から14年～」の開催（令和2年3月26日，於東京海洋大学品川キャンパス）
    - ②第73回講演会（令和2年9月予定，於北海道大学函館キャンパス）
    - ③漁業懇話会報の発行
  - e) 水産利用懇話会委員会
    - ①令和2年度第1回講演会の開催（令和2年6月予定，於北里大学）
    - ②平成2年度第2回講演会の開催（令和2年11月予定，於北里大学）
  - f) 水産増殖懇話会委員会
    - ①令和2年度第1回講演会「光が彩るヒラメ・カレイ類養殖」の開催（令和2年3月26日，於東京海洋大学品川キャンパス）
    - ②令和2年度第2回講演会の開催（令和2年9月予定，於北海道大学函館キャンパス）

g) 国際交流委員会

- ①講演会の開催（令和2年3月予定，於東京海洋大学品川キャンパス）
- ②令和2年度公益社団法人日本水産学会春季大会におけるSDGsセッションへの協力
- ③水産学若手の会の海外講演者招聘への協力

h) 水産政策委員会

- ①ミニシンポジウム「わが国沿岸漁業の中長期展望（水産改革の議論を踏まえて）」の開催（令和2年3月26日，於東京海洋大学品川キャンパス）
- ②漁業関連国際条約に関する情報収集
- ③随時シンポジウムの開催，共催等

i) 男女共同参画推進委員会

- ①談話会（ランチョンセミナー）「第5回水産学会におけるやさしい男女共同参画」の開催（令和2年9月，於北海道大学函館キャンパス）

j) 水産学若手の会委員会

- ①ナイトポスターセッションの開催（令和2年3月27日，於東京海洋大学品川キャンパス）
- ②シンポジウムの開催（令和2年9月予定，於北海道大学函館キャンパス）
- ③セミナー合宿の開催（開催日未定）

k) その他

3. 関連学会等との連携及び協力ならびに社会連携の推進事業（定款第4条1項3号に定める事業）

(1) 関連学会等との連携及び協力

a) 第28回海洋工学シンポジウムの協賛

共催 日本海洋工学会，日本船舶海洋工学会，協賛 海洋音響学会 他31団体  
令和2年3月9日・10日，於日本大学工学部駿河台キャンパス1号館

b) 第21回マリンバイオテクノロジー学会大会の協賛

主催 マリンバイオテクノロジー学会，協賛 電気化学会 他24学協会  
令和2年5月30日・31日，於東京農工大学小金井キャンパス

c) 第57回アイソトープ・放射線研究発表会の後援

主催 日本アイソトープ協会，協賛又は後援 応用物理学会 他61学協会  
令和2年7月7日～9日，於東京大学弥生講堂

d) その他，関連学会等が主催する講演会等の共催，協賛，後援

(2) 日本学術会議が行う事業への協力

(3) (一社)日本農学会が行う事業への協力

(4) (公財)農学会が行う事業への協力

a) 技術者教育推進委員会委員の派遣

(5) (公社)日本技術士会 CPD（継続研鑽）行事参加票の配布

(6) 水産・海洋科学研究連絡協議会への参加及び委員の派遣

(7) 海外との学术交流等

a) 令和2年度公益社団法人日本水産学会春季大会へアメリカ水産学会，イギリス諸島水産学会，韓国水産科学会及び中国水産学会代表者の招聘

b) 第150回アメリカ水産学会大会（2020年8月，アメリカ・オハイオ）への代表者及び委員の派遣

c) イギリス諸島水産学会（2020年7月，イギリス・ノッティンガム）への代表者及び委員の派遣

d) 韓国水産科学会大会への代表者及び委員の派遣

e) 中国水産学会大会への代表者及び委員の派遣

f) アメリカ水産学会，イギリス諸島水産学会及び中国水産学会との学術雑誌の交換

g) 国際交流懇談会の開催（2020年3月予定）

h) アジア水産学会大会及び評議員会への評議員の派遣

i) 世界水産学協議会（WCFS）への代表者の派遣

j) 協力可能な水産専門家リストの更新等 FAO との連携

k) 年次総会の案内等 PICES との連携

l) JICA，若手会員に対するインターンシップ，海外水産関係大会の参加，学術調査への協力等水産教育プログラムの推進

- m) その他, 文献交換の斡旋, 外国人研究者との交流等海外との学术交流に関する事業
- (8) ベルソブックス刊行への協力
- (9) 水産技術誌の監修
  - a) 水産分野の技術者, 研究者, 事業者等を対象として国立研究開発法人水産研究・教育機構が企画・編集し, 定期的に刊行する和文誌「水産技術」を監修する。
- (10) 第39回「海とさかな」自由研究・作品コンクールへの協力
  - a) 小学生を対象とした, 朝日学生新聞社主催の海と魚をテーマとした作品コンクールにおいて, 募集ポスターやガイドブックの配付, 出張講義の講師派遣及び審査員派遣等の協力を行う。
- (11) 水産高校との連携
  - a) 水産高校教員補充に関する情報の共有化の検討についての情報交換会の開催
- (12) 水産政策に関連する情報収集及び発信
  - a) 漁業関連国際条約に関する情報収集
- (13) 男女共同参画の推進
  - a) 男女共同参画学協会連絡会運営委員会への出席
  - b) 男女共同参画学協会連絡会主催シンポジウムへの出席及びポスターの展示
  - c) 東京海洋大学女性研究者支援機構との連携
- (14) 水産と水産学に係わる若手研究者や学生の研究・交流の促進
- (15) 東日本大震災災害復興支援に関する活動
  - a) 東日本大震災災害復興支援検討特別委員会での審議に基づく活動を行う。
- (16) その他

#### 4. 研究業績の表彰による学術の発展と科学技術の振興事業 (定款第4条1項4号に定める事業)

- (1) 日本水産学会における賞の授与
  - 学会賞授賞規程に基づき, 以下の賞を授与する。
  - a) 日本水産学会賞
  - b) 日本水産学会功績賞
  - c) 水産学進歩賞
  - d) 水産学奨励賞
  - e) 水産学技術賞
- (2) 日本水産学会論文賞の授与
  - 論文賞授賞規程に基づき, 日本水産学会論文賞を授与する。
- (3) 各支部・委員会等における表彰
  - a) 北海道支部
    - ①秋季大会高校生による研究発表会における表彰
  - b) 東北支部
    - ①東北支部長賞
    - ②水産・海洋系高等学校生徒研究発表大会における支部長奨励賞
  - c) 関東支部
    - ①春季大会高校生による研究発表会における表彰
  - d) 中部支部
    - ①支部長賞
    - ②優秀発表賞
  - e) 近畿支部
    - ①優秀発表賞
    - ②ポスター発表賞
    - ③高校生のポスター賞
  - f) 中国・四国支部
    - ①優秀発表賞
    - ②ポスター発表賞
  - g) 九州支部

- ①支部長賞
- ②学生優秀発表賞
- ③高校生による優秀研究発表賞
- h) 漁業懇話会委員会
  - ①漁業懇話会奨励賞
- i) その他
- (4) 「海とさかな」自由研究・作品コンクールにおける日本水産学会会長賞の授与
- (5) 他の学術関係の賞等に対する候補者の推薦

[公益目的事業2]

水産学に関する学会誌及び学術図書の刊行ならびにインターネットによる情報提供を通じて、水産学研究の科学技術成果の普及を行うため、以下の事業を行う。

5. 学会誌及び学術図書の刊行による水産学研究の普及事業（定款第4条1項2号に定める事業）

- (1) 学会誌の刊行
  - a) 日本水産学会誌第86巻2号～第87巻1号まで計6冊 [報文65編, 総説, 企画記事等総ページ約1,300ページ (各号350部刊行予定)]
  - b) Fisheries Science 第86巻2号～第87巻1号まで計6冊 [報文120編, 総説等総ページ約1,200ページ (各号250部刊行予定)]
- (2) e-水産学シリーズの刊行
- (3) 英文書籍 Fisheries Science Series の刊行
- (4) 日本水産学会誌のJ-STAGE上における公開